

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	消火栓施設整備事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	火災を最小限にとどめるために、消火活動に必要な水利施設(消火栓)を確保する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	消火栓	対象とした数	4,949	基
		実際に 利用した数	123	基

活動の内容 (何を したか)	<p><事業の内容> 各年度に設置及び修繕を必要とする消火栓の整備を実施する。</p> <p><実施方法> 1 その年度に新設が必要とされる設置場所及び設置基数を水道部と協議する。 2 修繕を必要とする消火栓はその都度、水道部と協議をした後に修繕工事を実施する。 3 工事終了後は、水道部立会いのもと設置及び修繕を実施した消火栓の現地確認を実施する。</p>							
	活動実績	項目名	新規基数	39	項目名	修繕基数	84	項目名
			単位 基			単位 基		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	35,120	33,693	36,981	109.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	整備数	新設及び修繕基数	単位 基	123 単位 基	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122
事業コード	100303 消火栓施設整備事業					
開始年度	昭和 60 年度		—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市総合計画			消防組織法・消防法					
	関連・類似事業	防火水槽施設維持整備事業								
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	1 消防力の充実	小柱	(5) 消防水利の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20
事業開始の背景	消防組織法第6条に基づき、市区域における消防を十分果たすために、消防法第20条に規定する水利施設(消火栓)を国で示された「消防水利の基準」を指針として設置及び維持管理する必要があるため。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	火災を最小限にとどめるために、消火活動に必要な水利施設(消火栓)を確保する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	消火栓					新設及び修繕基数				
	対象数	単位	平成 18 年度	4,924	基	利用数	単位	平成 18 年度	95	基
		平成 19 年度	4,949	基			平成 19 年度	123	基	
事業の具体的な内容及び実施方法										
<事業の内容>										
各年度に設置及び修繕を必要とする消火栓の整備を実施する。										
<実施方法>										
1 その年度に新設が必要とされる設置場所及び設置基数を水道部と協議する。										
2 修繕を必要とする消火栓はその都度、水道部と協議をした後に修繕工事を実施する。										
3 工事終了後は、水道部立会いのもと設置及び修繕を実施した消火栓の現地確認を実施する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点									
昨年同様に設置間隔を必要最小限にし設置基数の削減に努めるとともに、撤去等で要らなくなった蓋等を修繕で再利用した。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		41,460	35,120	35,105
	決算 (見込み含む)		34,310	33,693	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.25 人 2,300	0.35 人 3,288	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		36,610	36,981	
	財源内訳	一般財源	36,610	36,981	35,105
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		108.4	109.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)		385,368.4	300,657.7	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	新規基数	各年度の施設基数	基	40	39	45	
		修繕基数	各年度の修繕基数	基	55	84	79	
	成果分析	整備数	新設及び修繕基数	基	目標値			
%				実績	95	123	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	水道の管網整備と消防水利の必要地域との整合。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	新設消火栓	消防水利の基準に沿って	水道事業の管網整備とあわせ年度内に	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	火災現場における消火活動上最も重要なのが水利であり、これまでも防火水槽の整備とともに本事業を実施してきたところであるが、いまだ水利の不足または無水利地域もあり、本市の水利整備は完全ではない状況である。このため、21年度においても関係部局と調整しながら事業を継続していくものである。				
評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名	警防課長 荻野 透		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
⑨個別計画における方向性	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
	評価理由	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
◎個別計画における方向性	施策の体系	施策の方向		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			